

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
平成 28 度 定時総会

議 事 録

- 日 時 平成 28 年 5 月 26 日 (木) 午後 7 時 00 分～8 時 00 分
場 所 公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 事務所
次 第 1. 開会の辞
2. 表彰
 1) 永年会員表彰
 2) 感謝状表彰
3. 議長選出
4. 議長挨拶
5. 総会役員選出
 1) 資格審査委員兼議事運営委員任命
 2) 書記任命
6. 会長挨拶
7. 資格審査報告
8. 議案審議
 1) 第 1 号議案 平成 27 年度事業報告に関する件
 2) 第 2 号議案 平成 27 年度収支決算報告に関する件
 3) 第 3 号議案 平成 27 年度監査報告に関する件
 4) 第 4 号議案 その他
9. 報告事項
 1) 平成 28 年度事業計画案に関する件
 ①総括
 ②事務局 (総務部、会計部、渉外部)
 ③事業局 (情報組織部、地区事業部、学術部)
 2) 平成 28 年度収支予算案に関する件
 3) その他
10. 総会役員解任
11. 議長挨拶
12. 閉会の辞

議事概要

1. 開会の辞

定刻どおり吉本副会長より平成 28 年度定時総会開会の辞があった。

2. 表彰

1) 永年会員表彰

永年会員表彰対象者 59 名を代表して池田勝美氏 (城山病院)、上地裕美氏 (南大阪病院)、武岡真由美氏 (松下記念病院) 3 名に、竹浦会長より永年会員表彰状が授与された。

2) 感謝状表彰

感謝状表彰対象者の北川篤氏 (多根記念眼科病院)、森啓悟氏 (大阪府済生会野江病院) に、竹浦会長より感謝状が授与された。

3. 議長選出

議長選出について、総会出席者より立候補者がいないため、執行部から議長候補者として是永愛氏 (堺市立総合医療センター) と下本知子氏 (小阪産病院) の 2 名の提案があり、出席会員の挙手をもって承認された。

4. 議長挨拶

是永議長より議長就任の挨拶があった。

5. 総会役員選出

1) 資格審査委員兼議事運営委員任命

是永議長より、資格審査委員兼議事運営委員として理事から井戸田常務理事ならびに酒井常務理事の2名と、出席者より上遠野明氏（南大阪病院）、伊東千絵氏（小阪産病院）、岡部文雄氏（大阪府結核予防会相談診療所）の3名が任命され、両委員会の委員長に井戸田常務理事が任命された。

2) 書記任命

是永議長より、書記として大臨技事務所職員の岩崎和子氏ならびに出口由紀子氏の2名が任命された。

以上の総会役員任命について、出席会員の挙手をもって承認された。

6. 会長挨拶

本日は、平成28年度定時総会にご出席頂きまして有難うございます。

4月14日の熊本地震発生から1か月以上過ぎ、月日が経つのが早いのを痛感しております。

前会長から引き継ぎ、会長として1年が経ち色々状況が見えてきました。

会長としての役割は、旧体制から若いパワーへの懸け橋が出来ればと思い、超変革に挑んでいきたいと思っております。

どうか、今後も大臨技に対しご指導、ご鞭撻を賜ると共に、本日の総会でのご審議を賜りますようお願い致しまして挨拶に代えさせていただきます。

7. 資格審査報告

井戸田委員長より、本日の会員出席者数37名、委任状によるもの2,189名、計2,226名で、総会開催案内状送付日の平成28年3月22日現在の正会員総数3,505名の過半数を超えているとの報告があった。この報告を受け、是永議長より定款17条第1項に基づき本総会の成立宣言があった。

ここで、議長を下本議長に交代した。

8. 議案審議

1) 第1号議案 平成27年度事業報告に関する件

下本議長より第1号議案に係る事項として、平成27年度事業報告について平成28年度第1回理事会において承認され、大臨技ニュース平成28年5月号に掲載されていることの報告があった。

① 総務部

酒井常務理事より、庶務および広報の2つの部会について順に報告があった。

I 庶務：大臨技の運営に関わる業務を司る。

1. 定期総会の開催

1) 平成27年度定時総会を、平成27年5月28日（木）に開催した。

2. 会議の開催準備および開催

1) 常務理事会を大臨技事務所で12回開催した。

2) 理事会を大臨技事務所で13回開催した。

3) 平成27年度日臨技近畿支部医学検査学会実行委員会を大臨技事務所で7回開催した。

4) 平成27年度日臨技近畿支部医学検査学会事務局会議を大臨技事務所で6回開催した。

5) 総務・会計部会を大臨技事務所で12回開催した。

3. 平成27年度事業計画案ならびに予算案の作成および大阪府への報告を行った。

4. 教育施設との連携

大臨技登録学生（OEMS）制度の管理を行った。

5. 大臨技会員管理システムの充実を図った。

6. 大臨技会員証及び登録学生カードを発行した。

7. 大臨技臨床検査技師賠償責任保険の管理を行った。

II 広報：

1. 大臨技会報「通巻 第 201 号」平成 27 年 10 月 1 日（WEB 版）を発行した。
2. 大臨技ニュース「通巻 第 315 号～第 326 号」（12 回）を毎月 1 日に発行した。
3. 大臨技ホームページの更新を行った。
 - 1) 大臨技スケジューラーの管理を行った。
 - 2) データを随時更新した。

III 会議：

大臨技事務所において 12 回開催した。

以上、ご審議の程、よろしくお願い致します。

② 渉外部

清水理事より渉外部の事業報告があった。

平成 27 年度は、地域医療推進と臨床検査の普及啓発に関する事業、大阪府民の健康増進と福祉の向上、関係団体と協力して地域医療を推進する事業を行った。

1. 献血推進活動 2. 他団体との連携交流 3. 日本臨床衛生検査技師会委託事業ならびに啓発予防事業として「全国検査と健康展」、「エイズ、STI 予防に関する事業」や「がん予防啓発に関する事業」などを行った。

1. 献血推進活動では、第 44 回、第 45 回献血活動推進活動を平成 27 年 8 月 8 日（土）、平成 28 年 2 月 13 日（土）10:00～16:30 難波グリーンガーデン及び、まいどなんば献血ルームで開催し、夫々、献血受付 153 名、献血者 122 名、献血受付 176 名、献血者 151 名の協力があった。
2. 他団体との連携交流では、①大阪府「看護の日」記念行事・看護フェスタおおさか 2015 を平成 27 年 5 月 9 日（土）13:00～16:00 大阪府看護協会桃谷センターで「命を守る 暮らしを支える 地域医療の輪」をテーマに開催し、世話人 14 名が参加した。②第 11 回府民健康フォーラムを平成 27 年 10 月 25 日（日）14:00～16:40 サンケイブリーゼプラザ小ホールにて「たばこ病と呼ばれる COPD の怖さ～禁煙すれば防げる病気？～」をテーマとして開催し、208 名の参加があった。③平成 27 年度大臨技・大放技合同フォーラムを平成 28 年 1 月 23 日（土）14:00～17:00 大阪府医師協同組合会館にて「血管の病気 検査から診察へ」をテーマとして開催し、91 名の参加があった。
3. 手話講演会を平成 27 年 7 月 11 日（土）14:00～16:00 大阪行岡医療専門学校長柄校にて「医療現場に必要な手話」をテーマに開催し、65 名の参加があった。
4. 日臨技公益委託事業として、①「全国検査と健康展」を平成 27 年 10 月 18 日（土）9:00～15:00 大阪国際交流センターにて開催し、251 名の参加があった。②がん検診啓発推進活動（がん予防啓発に関する事業）を平成 28 年 3 月 20 日（日）10:00～16:30 グランフロントナレッツジシアターにて、がん予防フォーラム 2016「知ろう！学ぼう！考えよう！乳がん あなたのために、あなたの大切な人のために」をテーマとして開催し、196 名の参加があった。③HIV 予防啓発講演会（エイズ、STI 予防に関する事業）を平成 27 年 12 月 12 日（土）15:00～18:00 大阪行岡医療専門学校長柄校にて開催し、57 名の参加があった。
5. 会議を大臨技事務所において 12 回開催した。以上活動の報告です。

以上、ご審議の程、よろしくお願い致します。

③ 情報組織部

山西理事より情報組織部およびチーム医療部門の事業報告があった。

I 情報組織部事業

1. 新入会員研修会を平成 27 年 7 月 25 日（土）14:00～18:00 大阪市立生涯学習センターにて「新人技師への期待と会員相互の親睦を深める」をテーマに開催し、43 名の参加があった。
2. 第 32 回技師長会を平成 28 年 2 月 27 日（土）14:00～17:15 大阪府立成人病センター本館にて「新時代へ対応した臨床検査のありかた」をテーマに開催し、92 名の参加があった。
3. 情報組織定例会を大臨技事務所にて 12 回開催した。

II チーム医療部門事業

1. 糖尿病療養指導部会

糖尿病療養指導部会定例勉強会を大阪医療技術学園専門学校にて、第41回を平成27年4月21日に開催し39名が参加、第42回を平成27年6月16日に開催し61名が参加、第43回を平成27年9月15日に開催し、32名が参加、第44回を平成27年11月17日に開催し38名が参加した。

糖尿病指導士講演会を大阪大学中之島センターにて、第27回を平成27年7月20日に開催し117名が参加、第28回を平成28年2月11日に開催し92名が参加した。

2. ICT部会

ICT定期講習会を大阪市立大学医学部学舎にて、第1回を平成27年5月29日に開催し67名が参加、第2回を平成28年2月12日に開催し42名が参加した。

3. NST・褥瘡部会

平成27年度第1回NST・褥瘡部会講演会を平成27年10月10日に多根総合病院4階講堂で開催し18名の参加があった。

4. 生殖医療部会

平成27年度は研修会等の開催はなかった。

5. 内視鏡検査部会

平成27年10月17日・18日大阪国際交流センターにて全国検査と健康展に併設し、内視鏡機器の展示、内視鏡検査部会の紹介を行った。平成27年12月19日に難波市民学習センターにて第18回内視鏡検査部会を開催し、15名の参加があった。平成28年1月30日に大阪労災病院ホールにて南地区地域オープンセミナー・内視鏡検査部会合同勉強会を開催し8名の参加があった。

以上、ご審議の程、よろしくお願い致します。

④ 地区事業部

田畑常務理事より地区事業部の報告があった。

地区事業部では、平成27年度は、1. 地域にける会員相互の交流強化、2. 自由集会及び地域オープンセミナーの開催、3. 府民参加型健康啓発事業への協力、4. 検査説明・相談ができ臨床検査技師育成講習会の開催の4事業計画に従い事業活動を行った。

1. 会員相互の交流強化事業として

1) 会員交流会を7月25日に難波OCATビル上海時間(シャンハイタイム)にて、新入会員研修会との協同企画として開催した。

2) 施設連絡者会を3月5日にあべのハルカスにて、「平成28年診療報酬改定最新情報」、「検査相談：臨床への検査情報提供」の内容で開催した。

2. 地域オープンセミナーを、北地区、中央地区、南地区において、各2回開催した。

1) 北地区では、大阪医科大学にて7月4日に『「口腔ケア最前線」-新発見！口はわざわざ(病氣)のもと-』をテーマに開催し、2月6日に『「日臨技認定制度の最前線」-正しく知って果敢にトライ！-』をテーマに開催した。

2) 中央地区では、9月12日にあべのメディックスにて「CT検査の頭部・胸部・腹部の画像診断-基礎からの読影-」をテーマに開催し、2月19日に大阪医療技術学園専門学校にて「検査説明・相談ができる臨床検査技師の施設報告」をテーマに開催した。

3) 南地区では、6月13日に岸和田徳洲会病院にて「コミュニケーション能力をアップしよう！」をテーマに開催し、1月30日に大阪労災病院にて「胃にまつわるお話し」をテーマに開催した。

3. 府民参加型健康啓発事業に関する協力として、5月30日・31日にインテックス大阪にて、マタニティーカーニバル2015体験コーナーを運営し、来場者は2日間で22,000人を超え、体験コーナーにも3,000名を超える参加があった。

9月5日・6日開催の吹田市健康展および11月8日開催の摂津市健康展に協力した。

4. 検査説明・相談ができ臨床検査技師育成講習会を、9月26日・27日に中之島ホテルNCBにて開催し、64名の参加があった。

以上、ご審議の程、よろしくお願い致します。

⑤ 学術部

井戸田常務理事より学術部の報告があった。

I 学術部会関係について

1. 学術部会を大臨技事務所において 7 回開催した。
 - 1) 各部門が開催する講習会等の調整を行った。
 - 2) 生涯教育としての学術講演会の準備・調整を行った。
 - 3) 第 55 回日臨技近畿支部医学検査学会の準備を行った。
2. 他事業部の事業への協力をを行った。
3. 他団体との学術交流に参加した。
4. 教育施設懇談会を 3 月 23 日（月）大臨技事務所にて開催した。

II 講習会について

1. 第 10 回大臨技教育セミナーを平成 27 年 7 月 18 日（土）に大阪歴史博物館にて開催し、260 名の参加があった。

教育講演は『「うま味の科学」～グルタミン酸の呈味と新しい有用性について～』をテーマとして、企業の講師にお話していただいた。また、ワークショップとして、テーマ「色々な職場で活躍する先輩が抱負を語る」を題材に、企業、内視鏡検査、産科領域、CRC、認定一般検査技師など、異なる勤務環境の違いから見た、臨床検査技師のあり方について語っていただいた。
2. 第 11 回学術部講演会を平成 28 年 3 月 12 日（土）に関西医科大学附属滝井病院南館臨床講堂にて開催し、199 名の参加があった。テーマは「安心して当直検査を行うための基礎知識」であり、多くの部門に渡って活発な意見交換がされた。

III 日臨技学会・近臨支部学会関係について

1. 第 64 回日本医学検査学会を佐賀県臨床検査技師会の担当で開催した。メインテーマは「SAGA 創未来（さがそうみらい）～時代が求める風になれ～」。日程は平成 27 年 5 月 16 日（土）～17 日（日）、会場は福岡市；福岡国際会議場を中心に開催され、一般演題数総計 723 題であった。大臨技会員による司会および座長推薦は 18 名であり、会員による発表演題数は 81 題であった。
2. 第 55 回日臨技近畿支部医学検査学会を当会担当で開催した。メインテーマは「臨床検査から医療への主張 ～点から線そして面へ、臨床検査の可能性を求めて～」。日程は平成 27 年 10 月 17 日（土）～18 日（日）、会場は大阪市；大阪国際交流センターにて開催し、一般演題数総計 166 題であった。大臨技会員による司会および座長は 16 名であり、会員による発表演題数は 72 題であった。

IV 部門・分野関係について

学術部 10 部門において、各種講演会等を計 111 回開催した。

開催数の多さはもとより、各部門の特色を生かした講演会等の企画と事業開催により、臨床検査技師のスキルアップのみならず、臨床検査の精度を高め、結果として医療における質向上に寄与できたものと思われる。

以上、ご審議の程、よろしくお願い致します。

以上の第 1 号議案「平成 27 年度事業報告に関する件」は質問、意見もなく挙手多数により承認された。

2) 第 2 号議案 平成 27 年度収支決算報告に関する件

下本議長より第 2 号議案に係る事項として、平成 27 年度収支決算報告について平成 28 年度第 2 回理事会において承認されていることの報告があった。

杉山理事より、平成 28 年 3 月 31 日現在における貸借対照表の報告が行われた。

資産の部で流動資産合計 30,324,687 円、基本財産合計 15,000,000 円、その他固定資産合計 74,984 円、固定資産合計 15,074,984 円資産合計 45,399,671 円。負債の部で流動負債合計 19,210,942 円、正味財産合計 26,188,729 円、増減は 2,085,053 円であった。

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までの正味財産増減計算書内訳表での経常収益は、公益目的事業会計の小計は 27,753,348 円、収益事業等会計の小計は、5,547,700 円、法人会計は 6,893,970 円、合計で 40,195,018 円。経常費用の公益目的事業会計は 26,529,844 円、収益事業等会計は 6,150,265 円、法人会計は 5,429,856 円、合計で 38,109,965 円。公益比率は 69.5%であり、当期経常増減額は 2,085,053 円となった。

以上、ご審議の程、よろしくお願い致します。

以上の第2号議案「平成27年度収支決算報告に関する件」は質問、意見もなく挙手多数により承認された。

3) 第3号議案 平成27年度監査報告に関する件

柴監事より、平成27年度監査報告が行われた。

私たち監事は、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

以上の第3号議案「平成26年度監査報告に関する件」は挙手多数により承認された。

9. 報告事項

1) 平成28年度事業計画案に関する件

下本議長より当報告に係る事項として、平成28年度事業計画案について平成27年度第13回理事会において承認され、大臨技ニュース平成28年4月号に掲載されていることの報告があった。

①総括

竹浦会長より総括について報告があった。

平成27年度は、公益社団法人としての活動が2年目となり、会員の皆様のご支援、ご協力を得ながら役員が一丸となって全力で取り組んでまいりました。前年の経験を踏まえて活動を推進することができ、公益性のあるものを積極的に行いました。昨年度の最大の事業として、8年ぶりに当会が担当して、10月17・18日の2日間に渡り第55回日臨技近畿医学検査学会を開催いたしました。参加者は会員1243名、非会員46名、賛助会員223名、臨床検査医学会128名、日衛協87名、学生290名、その他51名の総計2068名の方が参加して頂き、成功裡に終わることができたのも、ひとえに皆様のお蔭であると感謝しております。

また、平成27年度事業計画を予定通りに実施致しました。詳細は各部からの報告をご参照ください。平成28年度継続事業として、公益事業としては府民公開講座、チーム医療推進事業、エイズキャンペーン、がん啓発活動、さらに地域に貢献するため精度管理、データ標準化、臨床検査データ共有化事業において行政や関連団体と連携を強化して事業を推進します。生涯教育をはじめ学術部門の各種研修会、検体採取厚生省指定講習会、臨床検査の説明・相談ができる研修会も引き続き開催します。事業の充実化を図るべく大臨技学術大会（仮称）の開催と遺伝子検査部門の設置を考えています。

②事務局事業計画案について

吉本副会長より、事務局計画案について報告があった。
事務局として、公益社団法人としての組織運営を維持します。

1. 組織運営の充実（総務部）
 - 1) 総会、理事会および各種委員会の開催
 - 2) 各種表彰の充実
 - 3) 会員への広報の充実
 - 4) 各教育機関との連携
2. 事務体制の強化
 - 1) 会員管理システムの充実（総務部）
 - 2) 大臨技会員証の管理（総務部）
 - 3) 大臨技臨床検査技師賠償責任保険の管理（総務部）
 - 4) 大臨技登録学生の管理（総務部）
 - 5) 財務管理の充実（会計部）
 - 6) 大阪府への事業報告（総務部・会計部）
3. 府民ならびに関連団体との交流の推進
 - 1) 府民への情報公開（総務部）
 - 2) 府民公開講座の開催（渉外部）
 - 3) 他団体との研修会の開催（渉外部）
 - 4) 他団体との情報共有（総務部）
 - 5) 大阪府地域医療推進協議会への参画（理事会）
4. 社会貢献活動の推進（渉外部）
 - 1) 献血推進への協力
 - 2) 障がい者に対する理解と協力
 - 3) 予防啓発事業の推進
5. 大臨技学術大会（仮称）の開催および運営

以上、報告いたします。

③ 事業局計画案について

高田副会長より、事業局計画案について報告があった。

1. 学術部
 - 1) 公益事業としての学術部講演会（年1回開催予定）や部門別研修会・講演会の開催およびこれらの事業を円滑に開催するための部会会議を開催
 - 2) 他の事業部の企画への協力
 - 3) 他団体（大放技、薬剤師会、栄養士会、看護協会等）との学術交流活動への協力（企画への参加、講師推薦）
 - 4) 府下教育機関と共同事業（大臨技教育セミナー）を開催
2. 地区事業部
 - 1) 地域の会員相互の交流強化
会員交流会（平成28年9月頃予定）、施設連絡者会（平成29年3月頃予定）
 - 2) 地域オープンセミナーの開催（各地区2回開催）
 - 3) 府民参加型健康啓発事業に関する協力
マタニティーカーニバル（平成28年6月4日・5日開催）
吹田市および摂津市の健康展への協力
 - 4) 検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会の開催（平成28年10月頃予定）
3. 情報組織部
 - 1) 新入の集い（平成28年5月21日、大臨技事務所にて開催予定）
新入会員および未入会者を対象に技師会について理解を深めるための研修会
 - 2) 技師長会（平成29年2月開催予定）
検査室の管理運営に役立つ情報の提供および施設間の連携と組織の強化につなげる
 - 3) 多職種合同チーム医療研修会（平成28年10月4日開催予定）
検査技師および多職種従事者を対象にしたチーム医療活動における横断的研修会

以上、報告いたします。

2) 平成 28 年度収支予算案に関する件

下本議長より当報告に係る事項として、平成 28 年度収支予算案について平成 27 年度第 12 回理事会において承認され、大臨技ニュース平成 28 年 4 月号に掲載されていることの報告があった。

杉山理事より、別紙「収支予算案」に基づき説明があった。

収入の部では、会費収入について 2,120 万円。事業収入 1,696 万円。補助金収入 185 万円。雑収入は、60 万円。収入合計 4,061 万円を計上した。

支出の部 1 では、人件費 737 万円、会議費 76 万円、事務経費 393 万円、事務所費 312 万円、支出の部 1 小計で 1,518 万円を計上した。

支出の部 2 では、学術研究費は 1,535 万円、広報費 264 万円、情報組織費 115 万円、渉外費 126 万円、地区事業費 144 万円、各種研修会費 4 万円、各種委員会費 85 万円、諸経費 70 万円、大阪学会 200 万円。支出の部 2 小計で 2,543 万円を計上した。本年度は支出の部 1,2 を合計した当期支出は 4,061 万円を計上した。

以上、報告いたします。

以上、平成 28 年度事業計画案と平成 28 年度収支予算案の報告は終了した。

10. 総会役員解任

下本議長が、本総会の役員および書記を解任した。

11. 議長挨拶

下本議長より議長退任の挨拶があった。

12. 閉会の辞

高田副会長より、今年は大臨技単独の学会を開催し、臨床検査技師にとって重要な年になるかも知れないことを伝え、平成 28 年度定時総会閉会の辞とした。

以上

平成 28 年 5 月 26 日

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会理事会において

議 長	是永 愛	印
同	下本 知子	印
理 事	竹浦 久司	印
同	吉本 勝美	印
同	高田 厚照	印
同	田畑 泰弘	印
同	井戸田 篤	印
同	酒井 正容	印

同	清水 隆之	印
同	出野 憲由	印
同	山田 真規子	印
同	山西 八郎	印
同	杉山 昌晃	印
同	増田 詩織	印
同	久保田 芽里	印
同	上田 一仁	印
同	梶 勝史	印
同	井口 健	印
同	岡本 秀雄	印
同	安保 浩二	印
監 事	柴 芳浩	印
同	荒木 年夫	印